



エントランスライト ニーライト (EJ-18型) 白熱灯

取付説明書

保管用

お客様へ

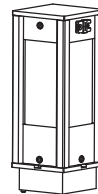
お買い上げありがとうございます。

■ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと必ず保管し必要なときにお読みください。

■施工には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店・電器店に依頼してください。

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。



上手に使って上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下図は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

■器具を改造したり、部品交換をしない



火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

分解禁止

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る



異常状態が収まったことを確認し、販売店にご相談ください。

必ず守る

■ランプは器具表示のものを使用する



間違った種類、ワット数のランプを使用すると、火災・感電のおそれがあります。

必ず守る

■アルカリ系洗剤は使用しない



強度低下による破損のおそれがあります。

禁止



注意

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。



点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

■ランプ交換、お手入れ ■本体の取り外しは
の際は、電源を切る 工事店、電器店に依頼する

通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

必ず守る



本体の取り外しには資格が必要です。

必ず守る

■点灯中や消灯直後は
ランプやその周辺に
さわらない

やけどの原因となることがあります。

接触禁止

■水抜き穴をふさがない
水抜き穴をふさぐと器具内に浸水した場合、水がたまり、絶縁不良による感電の原因となることがあります。

必ず守る

使用上のご注意

●器具が点滅を繰り返す場合

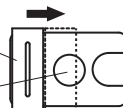
天井、壁面の仕上げなどにより反射光が強く器具が点滅を繰り返す場合は、明るさセンサのマスクを中央より少しずつスライドさせ、反射光の量を調整します。

注) マスクを中央までスライドさせると明るいうちに点灯し、朝、消灯が遅くなります。明るさセンサ

●電源投入時にランプが一瞬点灯する場合がありますが、異常ではありません。

●一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

マスク



施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■ 器具の取り付けは説明書に従い確実にを行う



取り付けに不備があると、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります

必ず守る

■ 土壌のしっかりしたところに設置する



設置に不備があると、器具倒れのおそれがあります。

必ず守る

■ 電源線と口出し線の接続は確実にを行う



スリーブなどで確実に接続し、自己融着テープ、絶縁テープで確実に絶縁・防水処理を施してください。（内線規程1335-7～9に準ずる）

必ず守る

不備があると、火災・感電のおそれがあります。

■ 次のような場所に取り付けけない

指定場所以外に取り付けると、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。



禁止

- 浴室などの湿気の多い場所
- 振動や衝撃の多い場所
- 水のたまるくぼ地や冠水するおそれのある場所

●この器具は防雨型・据置取付専用です。

■ 接地工事は、電気設備の技術基準に従って確実にを行う



アース線接続

接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

■ 交流100ボルトで使用する



必ず守る

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

注意

■ 温度の高くなるものの近くに取り付けけない



禁止

- ガス機器やその排気筒の近くに取り付けけないでください。
- 火災の原因となることがあります。

■ 調光器と組み合わせて使用しない



禁止

調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると火災の原因となることがあります。

- 調光器の取り外しが必要です。

■ 丸形ケーブル、ケーブル保護管、ケーブル引込穴の周囲にパテなどを充填し、湿気が器具内に充填しないように施工する



必ず守る

絶縁不良による感電の原因となることがあります。

■ 断面積2mm²以下の丸形ケーブルを使用する



必ず守る

指定以外のケーブルを使用すると、線カミによる感電の原因となることがあります。

取付場所について

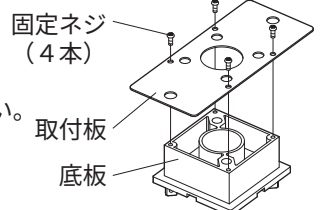
- 次の様な場所に取り付けると、明るさセンサ誤動作の原因となります。
 - ・昼間でも暗い場所・・・明るいうちに点灯し、朝、消灯が遅くなることがあります。
 - ・夜間でも明るい場所・・・点滅したり、点灯しないことがあります。
 - ・車のヘッドライトや他の照明の光が明るさセンサに直接あたる場所・・・点滅することがあります。

- 明るさセンサに自然光が入りやすい向きに器具を取り付けてください。
- 明るさセンサ側に障害物がないように取り付けてください。（障害物があると点滅を繰り返すことがあります）
- 壁面から50cm以上離して取り付けてください。
- 壁スイッチを設けることをおすすめします。（スイッチは別途ご用意ください）
- 壁スイッチを設けないとランプ交換やお手入れの際に電源をOFFにできません。

各部のなまえと取り付けかた 注意

取り付けの前に

打込棒で地面に固定する場合は、あらかじめ底板に取付板を取り付けてください。

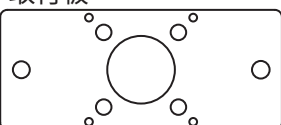


取り付けの前に

- 枠B取付ネジ(4本)をゆるめて枠Bを取り外す
- 枠A取付ネジ(2本)をゆるめて枠Aを取り外す

付属部品

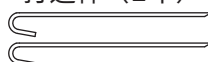
取付板



固定ネジ (4本)

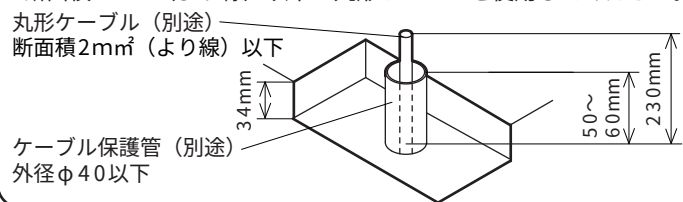


打込棒 (2本)



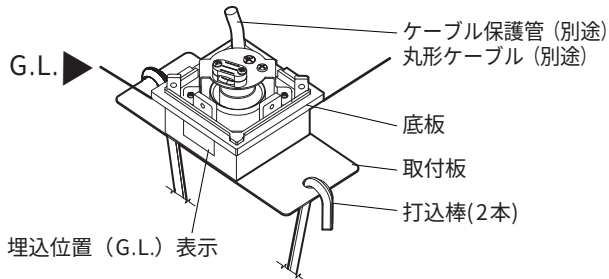
打込棒で地面に固定する場合

- ・下図のように丸形ケーブル（別途）、ケーブル保護管（別途）をご準備ください。
- ・断面積 2mm^2 （より線）以下の丸形ケーブルを使用してください。



1 底板を固定する

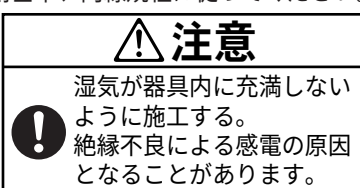
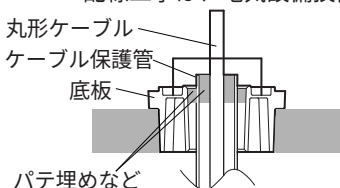
- ①ケーブル保護管（別途）、丸形ケーブル（別途）を底板内に引き込み、打込棒（2本）で取付板を固定する



- ②埋込位置（G.L.）表示まで土で覆う

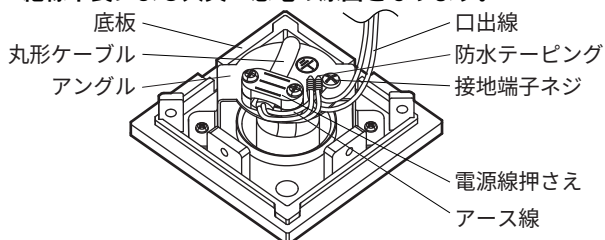
2 ケーブル保護管、丸形ケーブル、底板にパテ埋めなどの処理を行う

- ・ケーブル保護管と底板とのスキ間及びケーブル保護管と丸形ケーブルとのスキ間を埋めるように充填してください。
- ・配線工事は、電気設備技術基準、内線規程に従ってください。



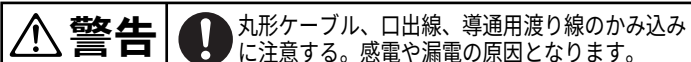
3 口出線に丸形ケーブルを接続する

- ①丸形ケーブルを右図のように加工する。丸形ケーブル
- ②丸形ケーブルのシース部を電源線押さえて固定してください。押さえ量はケーブル外径の1/4程度としてください。
- ③口出線との接続はスリーブなどにより確実に、防水テーピングを施してください。
- ④接地端子ネジからD種（第3種）接地工事を行ってください。
- ⑤接続した口出線は、アングルの上に配置してください。



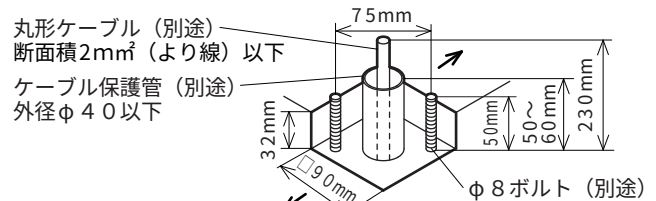
4 枠A取付ネジ（2本）と歯付座金（1個）で枠Aを底板に取り付ける

取り付けが不完全な場合、倒壊によるけがの原因となります。



コンクリート等に固定する場合

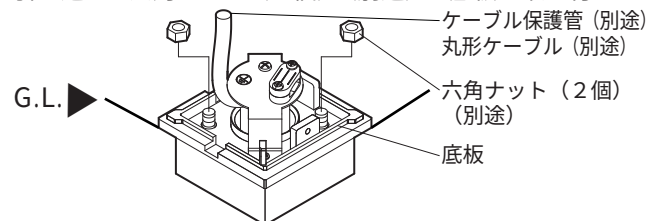
- ・下図のように丸形ケーブル（別途）、ケーブル保護管（別途）、φ8ボルト（別途）、六角ナットをご準備ください。
- ・型枠などを用いて下図の穴を事前にご準備ください。
- ・断面積 2mm^2 （より線）以下の丸形ケーブルを使用してください。
- ・付属の取付板・打込棒は使用しません。



- ・明るさセンサはボルトに対して、矢印のいずれかの方向になります。

1 底板を固定する

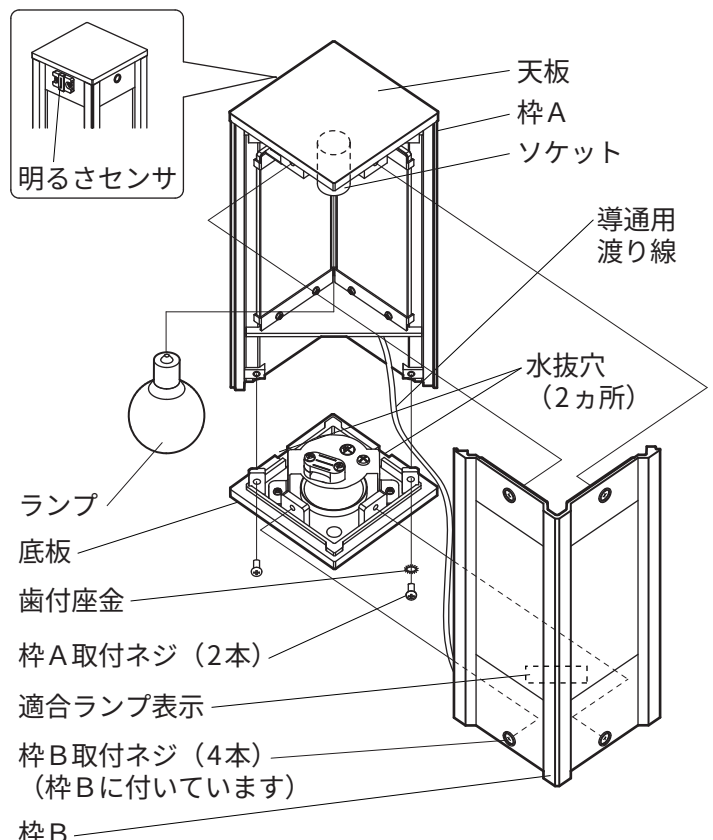
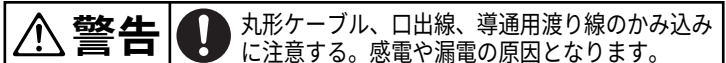
ケーブル保護管（別途）、丸形ケーブル（別途）を底板内に引き込み、六角ナット（2個）（別途）で底板を取り付ける



5 ソケットにランプを取り付ける

6 枠B取付ネジ（4本）で枠Bを底板、天板に取り付ける

取り付けが不完全な場合、倒壊によるけがの原因となります。



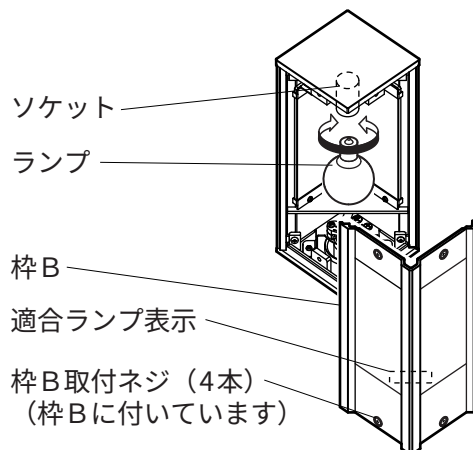
注）明るさセンサ部を暗くして点灯することを確認してください。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

- パナソニック製ランプをお求めください。
- ランプの種類は器具に表示しています。

 警告	 間違った種類・ワット数のランプを使用しない 火災、感電のおそれがあります。
 注意	 取り付けは確実に行う 浸水による感電及び落下によるけがの原因となることがあります。



- 1 枠B取付ネジ（4本）をゆるめて**枠Bを取り外す**
- 2 **ランプを交換する**
- 3 枠B取付ネジ（4本）を締め付けて**枠Bを取り付ける**

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1度程度）に清掃してください。
汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因になります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	付属ランプ
AC100V	40形φ50ボール電球（クリア・110V用・E17）

- 40形ミニクリプトン電球（クリア・110V・E17）も使用できます。

●〈照明器具〉安全チェックシート ●

※チェック欄が足りない場合はコピーしてお使いください。

安全点検項目		点検結果（該当には○）					処置手順
		/	/	/	/	/	
 このような症状はありませんか	1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。						○印があるときは危険な状態になっていますので使用を中止し故障や事故の防止の為お取り替えをおすすめします。
	2. プラグ、コードや本体を動かすと点滅する。						
	3. プラグやコードなどが異常に熱い。						
	4. こげくさい臭いがする。						
	5. 点灯させたときに漏電ブレーカが動作することがある。						
	6. コード、ソケット、配線器具に傷みやひび割れ、変形がある。						○印があるときはお買い上げ店にご相談ください。
	1. 購入後、10年以上経過している。						
	2. ランプを交換しても点灯するまで時間がかかる。						
	3. カバーなどに変色・変形がある。						
	4. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。						
	5. 器具取付部に変形・ガタツキ・ゆるみなどがある。						

上記点検項目以外でも不具合があれば、販売店等の専門家にご相談ください。

取説コード

Z421

201001A_1009